

平成30年度 都市部長の目標宣言 達成状況報告

都市部長 重田 浩光

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	立地適正化計画の策定 (都市政策課)	・都市マスタープランに示す「集約型都市(コンパクトシティ・プラス・ネットワーク)」の実現に向け、市街地における居住環境や医療・福祉・商業などの都市機能の誘導に関する方針を定める「立地適正化計画」の策定に取り組みます。	・中心市街地を形成する都市機能を誘導していく区域(都市機能誘導区域)の明確化	・立地適正化計画につきましては、都市機能誘導区域及び誘導施設についての計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施し、計画策定に取り組みました。 [今後の取組の方向性] ・平成31年度は、居住誘導区域や誘導施策や評価指標などを策定するとともに、パブリックコメントを経て、立地適正化計画の策定に取り組みます。	・目標どおり達成しました。
2	伊勢原市景観計画の推進 (都市政策課)	・大山地区において、神奈川県屋外広告物条例に基づく「広告景観形成地区」や、伊勢原市景観条例に基づく「景観重点地区」の指定に取り組みます。	・大山バイパス沿道等における広告景観形成地区の指定 ・景観まちづくりの取組指針となるガイドラインの地元共有	・大山バイパス沿道の広告景観形成地区につきましては、平成31年3月1日に神奈川県により指定が告示されました。 ・大山地区の「景観まちづくり」について、地元自治会の協力のもと、大山観光振興会との協働により、「大山まちなみ継承地区ガイドライン」を策定し、全戸配布を実施しました。 [今後の取組の方向性] ・大山地区につきましては、伊勢原市景観条例に基づく「景観重点地区」の指定に取り組みます。	・目標どおり達成しました。
3	市民参加・協働による公園づくり (みどり公園課)	・公園愛護会活動に対する支援制度や活動内容を啓発することで、より多くの公園愛護会の設立を進めます。 ・(仮称)桜台方面公園の整備及び多世代の市民が楽しめる場として、総合運動公園の再生修復整備を進めます。	・3団体以上の公園愛護会の新規設立(平成29年度末 68団体) ・(仮称)桜台方面公園の供用開始 ・総合運動公園再生整備に伴う詳細設計の実施	・平成30年度末の公園愛護会は69団体で、本年度中に新規に3団体が設立されたが、既存の2団体の継続が困難となり、前年度と比較して1団体の増となりました。 ・(仮称)桜台方面公園については、湧水対策工事の追加等により工事が遅延し、年度内の供用開始は困難となりました。 ・総合運動公園再生整備については詳細設計を実施し、平成31年度の工事発注準備を進めています。 [今後の取組の方向性] ・公園愛護会については、様々な主体が活躍できるよう制度の周知に努めてまいります。 また、既存団体の活動が継続できるよう対応策を検討します。 ・(仮称)桜台方面公園については、平成31年度早期の供用開始を目標に整備を進めます。 ・総合運動公園については、詳細設計に基づき、平成31年度から工事を実施します。	・公園愛護会につきましては、新規設立は目標どおり達成されたが、2団体が退会することとなり、全体の団体数としては、1団体の増となった。 ・(仮称)桜台方面公園については、年度内の供用開始する目標を達成することができなかった。 ・総合運動公園再生整備については、目標どおり詳細設計を実施しました。

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
4	施設の長寿命化対策 (みどり公園課) (建築住宅課)	・都市公園を市民等が安全に安心して利用できるよう、老朽化した公園遊具やスポーツ施設の改修等を進めます。 ・また、市営住宅についても、安全に安心して使用できるように、長寿命化対策の取組を計画的に進めます。	(公園関係) ・鈴川公園 野球場観覧席改修工事の実施 ・鈴川公園 プールフェンス改修工事の実施 (市営住宅関係) ・峰岸住宅2号棟 屋上防水・外壁改修工事の実施	(公園関係) ・鈴川公園の野球場観覧席及びプールフェンスの改修工事については、計画どおり実施しました。 (市営住宅関係) ・峰岸住宅2号棟 屋上防水・外壁改修工事については、計画どおり実施しました。 [今後の取組の方向性] ・長寿命化計画に基づき、計画的に更新工事を実施します。	・目標どおり達成しました。
5	木造住宅耐震化の推進 (建築住宅課)	・大規模地震時の被害を最小限に抑えるため、木造住宅の耐震診断・耐震改修及び除却に対して、補助金を交付し、耐震化を進めます。	・耐震診断等補助件数 10件	・木造住宅耐震改修工事等補助制度については、平成29年4月から、補助対象及び補助率等を拡充する改定を実施するとともに、各種イベント時に啓発活動を推進しました。 [今後の取組の方向性] ・木造住宅の耐震性向上を図るため、より一層の啓発活動に努めます。 ・ホームページ等の啓発においては、耐震対策の必要性を強く感じられるよう改定します。	・補助件数10件の目標に対して、9件 90%の達成率でした。 耐震診断 7件(6件) 耐震改修 2件(1件) 除 却 0件(1件) ()平成29年度実績